

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月9日

上場会社名 株式会社 大運

上場取引所 大

コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長

(氏名) 吉野 弘一

TEL 06-6532-4101

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,799	32.4	187		150		91	
21年3月期第2四半期	4,143		37		1		254	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1.57	
21年3月期第2四半期	4.35	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,327		1,523		35.2	26.03
21年3月期	4,644		1,547		33.3	26.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,523百万円 21年3月期 1,547百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期					
22年3月期					
22年3月期(予想)					

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,980	18.6	76		40		19		0.32

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	58,643,375株	21年3月期	58,643,375株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	87,913株	21年3月期	85,311株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	58,557,413株	21年3月期第2四半期	58,560,675株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記で予想した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成21年4月1日～9月31日)におけるわが国の経済は、在庫調整の進展や中国向け輸出の増加等により景気は緩やかに回復してきておりますが、設備投資の減少、雇用情勢の一層の悪化などから厳しい状況が続いております。

当社の第2四半期累計期間の営業収入は2,799,141千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,344,107千円(32.4%)となりました。

昨秋の金融危機以降、荷動きは大幅に低下し、営業収入は著しく減少いたしました。第2四半期末近くになって業績は回復の兆しを見せつつあります。

採算性の低い賃借施設の返還、人件費の削減等により損益分岐点は下がってきており、営業力の強化と併せ、今後更に収益改善を図ってまいります。

営業外収益65,238千円のうち受取補償金38,628千円、特別利益102,989千円の中の賞与引当金戻入益19,138千円もその改善策に起因するものであります。

また、特別利益として投資有価証券売却益81,753千円等、特別損失として投資有価証券評価損37,327千円等を計上しました。投資有価証券評価損につきましては、洗替法を選択しており、四半期末毎に見直しをするものであります。

この結果、当第2四半期の営業損失は187,363千円、経常損失は150,028千円、四半期純損失は91,808千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて6.4%減少し、1,995,800千円となりました。これは、現金及び預金の減少131,242千円等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて7.2%減少し、2,332,117千円となりました。これは、投資有価証券の減少115,690千円、差入保証金の減少27,000千円等によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて6.8%減少し、4,327,917千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて8.6%減少し、2,021,809千円となりました。これは、短期借入金の減少127,000千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少42,380千円、賞与引当金の減少9,665千円等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて11.6%減少し、782,160千円となりました。これは、長期借入金の減少71,040千円等によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて9.5%減少し、2,803,970千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて1.5%減少し、1,523,946千円となりました。これは、繰越利益剰余金の減少91,808千円、その他有価証券評価差額金の増加68,694千円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月22日に公表した平成22年3月期の通期業績予想数値を下記の通り修正いたしました。

記

平成22年3月期 通期業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,905	19	19	19	0.32
今回発表予想(B)	5,980	76	40	19	0.32
増減額(B-A)	925	95	59	0	
増減率(%)	13.4			0	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	7,345	365	300	1,284	21.93

昨秋の金融危機以降の荷動きの大幅な低下により営業収入は著しく減少いたしましたが、第2四半期末近くになって業績は回復の兆しを見せつつあります。収益改善策が寄与し、第3四半期以降は黒字転換する見通しであります。投資有価証券売却益もあり、平成22年3月期通期の当期純利益につきましては、当初予想の19百万円を修正しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度まで2期連続して営業損失を計上しており、当第2四半期においても、187,363千円の営業損失を計上いたしました。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該重要事象等についての分析・検討事象及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

設備等の見直しによる固定費の削減及び人件費の削減

平成19年4月の吸収合併及び売上増加の見込みに基づき肥大化した設備等の見直しを行い、賃借施設の返還により固定費の大幅な削減を図ってまいります。また役員報酬のカット等による人件費の削減を実施してまいります。

営業強化を目的とした人的資源の集中

営業強化に人的資源の集中を図り、新規拡大に特化した部署を新設し、積極的な営業展開を図ってまいります。

港湾貨物の領域を越えて物流サービスの提供

従来の港湾作業だけでなく、流通加工、保管、配送など幅広く港湾貨物の領域を越えた物流サービスの提供を目指してまいります。

主要港湾業者との提携強化による競争力向上

新しい物流の商品化を図るため、主要港湾業者との提携を強化し、国際複合一貫輸送での競争力を高めてまいります。

5 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	744,057	875,299
受取手形	3,779	7,140
営業未収入金	814,178	800,953
立替金	375,550	343,353
その他	71,226	107,400
貸倒引当金	12,992	2,141
流動資産合計	1,995,800	2,132,005
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	274,103	284,547
構築物(純額)	3,620	3,806
機械及び装置(純額)	54,522	62,383
車両運搬具(純額)	138,988	168,821
工具、器具及び備品(純額)	18,246	20,837
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	21,184	9,699
有形固定資産合計	1,086,849	1,126,279
無形固定資産		
のれん	488,793	502,758
その他	38,766	44,767
無形固定資産合計	527,559	547,526
投資その他の資産		
投資有価証券	556,431	672,122
差入保証金	88,425	115,425
その他	389,563	357,678
貸倒引当金	316,711	306,976
投資その他の資産合計	717,707	838,250
固定資産合計	2,332,117	2,512,056
資産合計	4,327,917	4,644,061

(単位:千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	88,138	96,299
営業未払金	500,283	463,414
短期借入金	600,000	727,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	581,220	623,600
未払金	64,320	70,118
未払法人税等	28,538	32,611
賞与引当金	50,471	60,136
その他	108,837	129,130
流動負債合計	2,021,809	2,212,310
固定負債		
長期借入金	529,440	600,480
退職給付引当金	136,838	139,936
その他	115,882	144,104
固定負債合計	782,160	884,521
負債合計	2,803,970	3,096,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,321,658	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	241,563	241,563
その他資本剰余金	433,864	434,013
資本剰余金合計	675,428	675,577
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,376,282	1,284,473
利益剰余金合計	1,370,426	1,278,617
自己株式	10,441	10,422
株主資本合計	1,616,218	1,708,196
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,272	160,966
評価・換算差額等合計	92,272	160,966
純資産合計	1,523,946	1,547,229
負債純資産合計	4,327,917	4,644,061

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収入	4,143,249	2,799,141
営業原価	3,936,545	2,751,092
営業総利益	206,703	48,048
販売費及び一般管理費	244,515	235,412
営業損失()	37,811	187,363
営業外収益		
受取利息	988	491
受取配当金	13,056	8,951
保険返戻金	36,239	-
受取補償金	-	38,628
その他	11,646	17,168
営業外収益合計	61,930	65,238
営業外費用		
支払利息	21,624	21,400
その他	1,179	6,503
営業外費用合計	22,804	27,904
経常利益又は経常損失()	1,314	150,028
特別利益		
固定資産売却益	1,492	1,337
投資有価証券売却益	-	81,753
償却債権取立益	3,967	-
賞与引当金戻入額	-	19,138
その他	-	759
特別利益合計	5,459	102,989
特別損失		
投資有価証券売却損	1,276	1,401
投資有価証券評価損	219,314	37,327
貸倒引当金繰入額	36,979	3,131
その他	-	66
特別損失合計	257,571	41,926
税引前四半期純損失()	250,797	88,965
法人税、住民税及び事業税	3,913	2,843
法人税等合計	3,913	2,843
四半期純損失()	254,711	91,808

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。